

3 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標

(1) 計画期間の目標

ア 抑制目標

| <input checked="" type="checkbox"/> 温室効果ガスの排出の量の抑制目標(二酸化炭素換算) |            |         |
|---|------------|---------|
| 基準年度の排出量  | 目標値        | 削減率     |
| 12,726.0 t  | 12,016.0 t | 5.8 %削減 |

| <input type="checkbox"/> 温室効果ガスの原単位排出量の抑制目標(二酸化炭素換算) |  |  |         |
|--|--|--|---------|
| 指標   | 基準年度の原単位排出量  | 目標値  | 削減率     |
| m <sup>2</sup> 当たり                                   | 94.1 <input type="radio"/> t <input checked="" type="radio"/> kg | 88.6 <input type="radio"/> t <input checked="" type="radio"/> kg | 5.8 %削減 |

イ 基準年度及び目標年度

| 基準年度    | 目標年度    |
|---------|---------|
| 平成13 年度 | 平成16 年度 |

ウ 目標設定の考え方

電力・水の節約を中心にCO<sub>2</sub> の削減を図る。  
 毎年省エネ率 2%削減を目指す。結果的に、CO<sub>2</sub> 年間2%の削減を図る。 制約条件：IBM 基準による。 負荷増減・気象条件を考慮する。

(2) 長期的目標

省エネルギー効率 4%を目標とする。 自然エネルギー（太陽光・風力など）利用を検討する。 環境負荷の小さいPCを導入していく。 既存負荷（空調・照明動力など）の継続的軽減を図る。

- 備考 1 原単位排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する事業所の床面積、製品の出荷量その他の指標に係る単位量当たりの温室効果ガスの排出の量をいう。  
 2 基準年度とは計画期間の初年度の前年度をいい、目標年度とは計画期間の最終年度をいう。